



「ウブロ・デザイン賞」：サローネサテリテ出身デザイナー2組が優勝

スイスの高級時計、ウブロの第1回「ウブロ・デザイン賞」の授賞式が先月東京デザインウィーク期間中に東京で開催され、サローネサテリテ出身デザイナー2組が同位で優勝しました。

「ウブロ・デザイン賞」は、ウブロのアイコン的デザインである「ビッグバン」発売10周年を記念して今年の春に創設、対象は40歳以下の若手デザイナー。スイス高級時計ブランドらしく、革新と新素材に取り組みつつ、常にその美しいデザインによってアイデンティティを確立してきました。

今年6月、25組の参加者から5組の最終選考者がミラノで発表され、10月27日、東京都現代美術館にて授賞式が開催されました。ピエール・ケラー氏率いる審査団はラポ・エルカン氏（イタリア実業家、デザインの専門家、フィアット・オートモービルおよびフィアット・グループの元マーケティング・マネージャー）、ロナン・ブルレック氏（フランス人工業デザイナー、欧州デザイン界新進気鋭のスター）、ペーター・ゼーツ博士（レッドドット・デザイン賞創設者兼社長）、そしてサローネサテリテの生みの親でありキュレーターであるマルヴァ・グリフィン・ウィルシャー氏。優勝者のスイスのデザインチーム、ビッグ・ゲーム (BIG-GAME) はそのチームワークが讃えられて、ノルウェーのダニエル・ライバッケン氏は照明における独自のミニマルなアプローチが賞讃され、賞金5万スイスフランが其々に授与されました。また、審査員特別賞としてアイスランドのブリンジャー・シガードソン氏に賞金1万スイスフランが授与されました。

ビッグ・ゲーム (BIG-GAME) デザインチーム - オーギュスタン・スコット・ドゥ・マルタンヴィル氏、グレゴリー・ジャンモノ氏、エルリック・プティ氏 - の3人は、2005年、2006年のサローネサテリテで、合板、フラットパック、ウールラグで作った動物の「ハンティング・トロフィー」シリーズを出展し、これらは後にマスタッシュやギャラリー・クレオより製品化されました。また、彼らはサローネサテリテ15周年記念イベント、「デザイン・テクノロジー」のインスタレーション・チームに選ばれたデザイナー15名にも含まれていました。

ダニエル・ライバッケンは2009年のサローネサテリテに出展し、ドイツのデザイン誌主催の第10回「デザイン・レポート・アワード」で新人賞を受賞、2010、2011年の「50+50 デザイニング・ザ・フューチャー」に招待され「デイト・インスタレーション」を出展。サローネサテリテにも出展し、その後、作品が製品化されました。ランプ「カラー」はリン・ロゼとe15から、「ライト・アングル・ミラー」はギャラリー・クレオから、そして2014年コンパッソ・ドーロ賞を受賞したランプ「カウンター・バランス」はルーチェプランから発売されました。

表彰式の展示構成を担当したのは日本人建築家の芦沢啓治氏。2008年、2010年のサローネサテリテ出展者である芦沢氏は、そのシンプルでありながら美しく洗練された「正直なデザイン」が評価され抜擢されました。

2015年11月 ミラノ
マルヴァ・グリフィン・ウィルシャー